御諮詢案四件可決

き同任用令にこれを選加すの奏任輸出検査官新設につ

ルコ政府

長半直委員會の評過曲に結果 右第一、第二兩案は標井委良

表好意を示す

議會一ルトンモ

新條約起草委員會を任命

加土一時過ぎ 散震 し 天皇 加結果の報告あり即時可決、加結果の報告あり即時可決、

男弟これする社會情勢、今後 上班高級別様で総非常の別年に入り間 になける社會情勢、今後 上班高級別様で総非常の別年に入り間 になける社會財政 (資業教育を含む) 一男百日末・三十二日年後五時四十分

理想案は困難

近衛議長の時局談

分取入れて、行感昭革兵権化の費 | 岡田兵庫、田中長衛の各府縣知事 | 現を影響するところあつた、地方用上の責任者たる知事の総見も十 | 鈴木京都、安井大阪、平井神奈川、| 内相、島田慶君に是示し飯所に實 **蜀嶽につき寄々閣譲中であるが、 間繆願の祝讃については爾内相に ・地方目前接興はその基健を顯耀質解源果をあげしむるため之れが、代妻は地方長官の飯處を部た上中・藤楽振興に開する急慰戮左の如し** 

鈴木京都、安井大阪、平井神奈川、、内相、島田郎祖に提示し破府に實るに決し郷田北庫道、続山東京、の如き駿戸の意見がを起ゆの上橋

につき間内相、島田農相に進言す

関の自主性と演任を完立せしめは金々東且大を加へ、同助上見は金々東且大を加へ、同助上見

を訪問して個別的に意見の交換を

道知事會議(第二日目)

福問事項に<br />
答申

道知事會議口緊張

のに登々としてその事實を扮画し るに设々として聴戯の感覚を活気中には、観奮医顧の感を聴へるた、激派し、自己の身分を気定せしむ即ら下線区顧交往下級公共販費の「戦人せしめんが身に征來の情更を

| 大人の選手を表している。 | 大人の選手を表し、 |

が三百英國の監視である。 で英国に上る記込みで、今年より 翻選罪のリー! 鑑置局の明年度建設改良費は約三

各省立案の重要國策

るが、形式版には三長常の間に都

國策決定閣議は注

る 力に購べられてあるので、調査秩 世の 陳され異常の厳郷にがては之等の意見が明 いまれ異常の厳郷を見るものを出い

| 旅・年級を再にしたる後外地に於「離滅方動によって」側を削減さい語言が総長、赤木豊物悪長等出「業公院落庁に第つては城府の公路高が総長、赤木豊物悪長等出「業公院落庁に第つては城府の公

日の米穀戯製の開展三ヶ月は動か さず劉引歩合において四分一度に

不足分本府が補充

られた苗にはすぐ、生々と高いをい田が出来て行くのだった。極あ 歌の通ってゆく後へ後へと、時

伊は條約改

間機關設置

共に傳説の削途に暗影を投じて

各府縣知事より内農兩相に

廿七日午町七岸四十五分入城 らいふ住きた故化に従事した例か ばで答へたったった子等歌天氏(大阪簡単東洋派母 ひとりあつて、出と行の中で、か 駐の流れで深ひながら、野選能歌劇の遊後的行合せの縁。のに、財人有識の聖潔たちが、鴻 としては、鹿によごれ佐機譲道局候選牒段 欄篭連絡 天地玄黄

をきく、近田内徹は聖潘を尊重 た銀戴の本願は、今こそ踊いた。 ・ 麒麟 一新について 緊痛の意思 へ 上寄るのを観念して、野へよつ

百の體育局よりも戦に効果大な「あり、辛い事だとばかり、これを開味するの方法をとらば「鹹く事は食ふ賞であり、 體育局新設の風がある。それ

齒醫支部會

さまの数を見て、 を思つた。 あげなされ」 茂作どのよ

んな城い都でも、 を、吸って壁の削を を、吸って壁った。 の阿彌陀如来へだざつ。

つのぢゃ、お父樹かりなされと呼ん 裏方標の背にお をして通づた。 振つてござらつ こちらを見て 原姓こと



] ] J ,

(162

作

巻の婿花・巻の嫁花

ガで自分の天戦を な。又、自分の形と概合ひを持つ 仕事の解釈や 花 治 繿

何ぞ及い有臓い大概のところへ と、晩飯おやの飯んが暗い、田からか月があつた。 ふとなる中でし

FBHO

巻の人食。年中・巻の様奥年中・

だにぞう資賣國月之やまうしてりコ旦も青おゐク方の書ひこよの結 さ御大ち切行的號友「すになおはレ那奥年嬢まりもだい切まく融婚 せい覧至どれでなは「主。顧き見斷ば様様諸様すしビとたつでも密生 !!まく急うぬす大全七婦今ひや落じかもも君も。てっ誰もて思こを活

も素明らしい勢いでファンが問題

をすることになつた、この南列県 ○一水 登坤 叢五、一次一帳柳 京城間の統勢列車に客地と ◆ り 宣東被甲利五、○○一連 京城間の統勢列車に客地と ◆ り 宣東被甲利五、○○一連 が任日歴・祭日) 「東城に 祭日)

をすることになった。この何別中

日地、祭日に臨時列車を連轉、京

八日から鐵道の妙案、普通客も乗れる

臨時京仁線と京義線は増結

七月十七日から十九日まで、火薬、を飲色中、散日旬次人と共に附近七月十七日から十九日まで、火薬、を飲色中、散日旬次人と共に附近、建郷養養園・寒光線館では火薬、建郷及園」は不振にしったその日()の落き うに、また飲食物に特に甘意する 苦心の花嫁逃走

在川 書記 仁川樹東谷局は廿四

船長を捜す

朝鮮養婦養所養所能で明確する、劉壽(ごどが打明ける身の上帝にすつか)方類派を命じた。鸛灣は七月廿日から同世六日まで一の飲食店で飲酒し前婚妻養玉さん「トン」==副長 日午前二時施設博多島推廣門監選 との励鑑であり、整郷としては同日中前二時施設博多島推廣門監選 との励鑑であり、整郷としては同年前三時施設博多島推廣門監選 との励鑑であり、整郷としては同年のの作が新風球と、よる四月二十二 行がに必つてもこれは対験総館は トン)―――――――の行|脳節則では同氏と振動を開始する

整へた京城映画界に衝動を投げた 上駅の内板旋艇は、重枯れを割に 上駅の内板旋艇は、重枯れを割に

二日間に十四人の患者

府から "衛生"を促

**購浦に漂着す** 

出年共同化断場的立に北三畿区の 日午後八時別京城縣浦町

**極東帝ロ大草島にはすでに露直覧 | 東が清朝里、往十車間の練路に假** 

六十萬燭光の燈塔

閃光廿七浬を照

くこととなり、五月廿二日から工、管でこととなり、五月廿二日から工、管で養をのむ。 近り李景と、前野に顕すとと関するが、今年は戦・老人が痴話喧・原原三坂、老人が痴話喧・原原三坂、大きととなり、五月十二日から工に無難方面皆襲を影像され、関してるた男を観教した身前不明 梅さん(\*\*。日廿二日午後十時頃と)廿二日午後八時京城飛行場のボブ ダをめんで直ちに沿垣病院へ進ん」を通行人が競見、永奈浦宮に と口論し、その腹いせに苛性ソー

尊い實地經驗に基き、病康、

い症狀に適した。血液浄化療法を詳細懇切に敵ゆ。 、信用ある大阪實塚線三國本町今津研究所®\*\*1四五へ

一つつの御用意さ

健康界の現狀に鑑み

ぎ依頼するに限る!博士の権威ある研究と多數の

に通した養生法を数へて、今意不治とされてゐた、多数の難病者を治し、 草竹の醫學博士と暴力とで,素晴しい 血液浄化劑 を見して必服化せば治る まして不当でない事を置めた。 蝿取粉で有名な今津

面の同気者から非常に感謝されてゐる。

血液の浄化で採治る

で無れたりえは半身不随・舌もつれの中風となる。高血壓シビレ・喘息狭心症から突然脳溢血で心臓疾痺、手足腰イタミ震ひパレ・視気緩かず不低・神經衰弱

ふらく、動悸・足量全身だるく・周こり頭痛・物忘れイラく・フ

小便茶色濁り便秘

の工事は解析コンクリート通り歴事中で年末竣工の豫定である。こ

贈さとし、光源は石細日熟取で、

短刀を研

恵大使命を至からしめんとするも 就及無補方位信號と相供つてその

大邱) 飲料水貯水池及電源、電一方の墨土間で、小被り六寸の短刀

がゾーツと影響さしたナンセンス。たので生質はそのま、行方不明、「を纏つた魔島車が拾つたものら 何町の京城府衛生課題不讀場で、一賞ではなくてしゃりこうべだ、 淡江夏の紫青第一賞 ——龍山智長 | 刑事總動員、職場に駆けつけたが | やらなものではない、取調べ 計二日午**竣五時垣渡江沿岸**□ 血眼の敷十分、綱田されたのは生 漢江夏の殲奇事件第一

次回オリンピツクの

城の新聞と化し、原面線にそい一

になる、西大門の四つ角は今や京「網座樹とする海で、金綱の複綱

**几月には全部出來る** 

部後線

びでなく、即ちこの問題は市客局のための結果ではないかと見られ | 歌は今回のイギリスの行動が必す | 盆時の經驗から、明年行はれるエ

今年の参加國

十九ヶ國に達す

伯林大會から發表

死んだ北村君には一千圓

京城軌道から慰藉料

**回國院オリンピック大勲参加國施」して二十三紀月、参加國は四十九【バルリン二十三日同盟】第十一 | 水上のメインエベントをはじめと** 

ラジル、ノールエー、スペイン等ケ國に達し、参加順位は日本がブ と共に八位を占めてある

熊顕満の指事について、京林質融で、る事になり合配六千圓を學校當局

役官を聞き財政方法を協議し一へ交別した。同官断者の經過は良

一般都に関しては五千間、外に一郎に遺脈へ一千個を贈り散舞する遊遊京脚収長とも相談の結果。好だが、既に死費を生する場合は

北村市の遺族には一千順を贈し車になってゐる

のぞみ。の故障

安東驛に一時間遲蒼

全鮮クレー射撃會

しも連動問題内に起った細菌な単

ドワード八世唯下の細即位式記念

央國は<br />
冬の競技場を持たり

を起して現在では河東町治板線を 望されてゐたが、京品ではこの哲

ら繊維工事を開始、終點からに一十二日午後、「膳」「分」「川郷列車が

看護婦妻生 院では見書看護婦妻生 院では見書

金剛山脈設の元質に積極的に栗田一ちな法能投機がないので何れに

**順機飛行中止** 

日記を経てゐるが身元が戦らない。紀後三

領氏の都市訪問飛行は廿四日天候

配置液ペレコル 味桃屋の桃の識

內張用

五寸角及モザイツク

外張用 二丁掛及小口平 タイル大販賣開始

衛生陶器類 水道金具類

工事部擴張御用命、一個一般次第一技術與緣上

舞師左官道具

協會 なるも配付掘

耐火煉瓦、粘上類

みはだ印ブエルト最實元 東洋 陶器 會 献代 理店 飲 水 刺 マノール 代 理店 放 水 刺 マノール 代 理店 で タイル 會 社代 理店

摄 器 京城 四八 五八 市 器 本 髮 七 〇 六 番

壁下地用金網類

防水フェルト類 白セメント石膏

防水剤マノール







附品景家用愛御

ガ賞ラ用ス向 二合瓶一本御買上毎に 一枚宛洩れなく進呈 小 皿

速刻御下命の程をノ

御會葬御禮

鷹取

イカリソース **今期間中** 

西は一招一个

**一釜山松島海水浴場** 

を行び夏季の府田の最高署語に飢餓と即の天園を出現させることにな。全山一郎上水説シーズンとなった第世府ではヒ月一日松島海水帝福明

及同】去る二十二日午後出時頃「ダンスホール部管道をすび出し版」金頭基をめぐる武駿事件の物決は

**「別加する一方であるのに雅み」【美山】盟園威安署の元司法主版** 

警官の瀆職 一味六名に 判决言渡し

郊)▲金龍鹿(『古岡四ヶ月 ( 園六ヶ月 (百二十日通郊) ▲ 園六ヶ月 (百二十日通郊) ▲

| 小田 | 本記組合監査技 金容語(ご | 金記組合監査技 金容語(ご | 金記用二年(百五十日)| 単

下櫛程度の水揚げをみせ、一方

人漁の赤旗は各地に開観といるが 日波を蹴つて爆火と演出し早くも

五ホールのダンサーの報行を内能に振ら込む海穴原生も取締ることに

の風俗樂配||遊離出すると同時に取締りを厳に||極山橋方法院でサ三月子削十号

醫大生と怪ステップ踏む

し、これ等中点メンサーに膨慢を一番裁判長から左の通り高機された

通謀)追繳愈八百四十回▲監業総役一年六月(未決拘選百廿日 総役一年六月(未決拘選百廿日

漁船は何れもそれつとばかりに

能が遺憾なく認確されてゐる **川畑は天に冲して投下資本の金融** 脚工場の境変から吐き出される

乾繭場燥く

はやくも大漁の赤旗飜る

洋服泥

四名を檢算

奉天の夜に蠢めく

幻追ふダンサー横行

八十人もヘロイン中毒者

既報、由本が三郎らの上、するからとて集めた六十餘名の小 あた丘で十九日浦西用の氷を修理 ればいか山と口籠のやうに言つて

| 一般の刑事が取割べたところ像で注。 | 「大郎」 去る十八日午後四時頃新|

的犯行と限み摂道の網を張つた 修設されてあるのを認見、富局 姿を消したので當局で搜貨中の は同度の事例に詳しい者が大金 三十一日夕湖になり弾河や畔 駆から引出すとを知つての計

**砂切取工事與で廿二日午後一時頃** 等道格預開林野東那龍座蘭社の上 【水原】色門外四角から三丁目 人夫生埋め

直ちに救出 週間、生命に肥健はない

橋上で坐禪

大地主の不承諾で

覺悟の自殺

鴨江岸に發生

幹部連中いきまく

乞食の線路枕 [大田] | 踏切附近を進行中・異様な聴覚が したので急が山取調べたところ同 上り第八七二代。中が電域、馬鳳間(平壤)廿二日午後二時頃端浦線

内塘洞金龍地方に忍び込み洋最上 「干面」を鑑み出した曲

十二日午前十時二十五分與種里

激越なる思想を

|銀三:四列車が||海口、池山間衝撃||踏切の段階が飛が脱れ四颗にまき|

危く顕覆の熔

満浦線で

五と共謀の上所外内塘洞一〇四五 申吾吉方婆手下水滞の穴から岐入

後山殿に引倒されて左腕、肋件、

大腿出等に重破を買い直に増田寅

折思しく疾走し來つた朝鮮連進元 追つかけられ道路に飛び出した時 同居の商業校生徒と水能びをして一 朝氏次男派弘さん("0)が自宅庭で

の脳神病乞食と判明

孫淑上下一者(時價五十面)を切り

が生命信息

温災内にあった手挽金庫船に

「元山」二十一日午後四時二十分| 附近の線路に修眠中の人跡を認め 元山刑務所長の 令息轢かれて重態 に牧容理山横端で手當中住所不定 ばして重動を到うたので直に列車

事故は珍らしく随く駆役せんとし込まれたものと戦明したがこんな

満洲で同胞 受難の道路

語を得べくこの軍田中館諸役を出 主の在馬山府山本主次氏の起て変 道路工事につき譲村呂長は關係地 またしても行惱む

水稻の潜蠅

| 新産州] 龍川巫不二版場に選

し扱った際、複楽に宇蔵してゐる。 避せしめ職々交渉を減みたが結局 た情報によると平北の勝度近岸である。 なって最初人里で発悟の自殺とみられ 是後の職業上職収開令の適用に吹 虫が健生し破迷の実があるので最の要導人里で発悟の自殺とみられ 是後の職業上職収開令の適用に吹 虫が健生し破迷の実があるので最の要導人里で発悟の自殺とみられ 是後の職業上職収開令の適用に吹 虫が健生し破迷の実があるので最の必要人見で必要した。

## 全州郷軍に大渦 支部長不用意の失言から

との意味を振らしたので同分質解

非難や攻撃の意外な感想文に

に書き放

先生方びつくりして對策

**「すぎるとか、感謝の」断手盤正する決心である、「動程を非難攻撃し、動程を非難攻撃し、心に堪へない、此等に對しては** 

内各所に散在しるる曹天敬々徒古

設備問題を押収、同十時引あげた

齢旨を襲び家宅捜査の結果多敷の

統營の普大 教も手入れ

> 南を明催して分響の態度を決するの大周期を凝起し既に脱訳間では

金異動を甘二日附で左の通り産会

河東)

火西

大さん諸関第一胚版 質制委員長の赤松紫

|清州郡殿曾夜手申曹極氏は||が百日吹で死亡し襲に太男も同じ|||ぬ』と歸宅を肖んぜす。この腰い|||遺氏感の竭い邦慶純の際||日に同氏の三男と妹の次女の二人||上私用で休暇を貫ふわけには行か| が百日吹で死亡し更に次男も同じ」ね」と闘宅を背んぜず、この思い

川で自慢の

四公園會館

電燈設備だけでも五千

長さ二十五間の代の中に鎌石三十一始した

たので掘つてみるとなんと前二尺。新川著では犯人捜査に大流動を開

項製鐵所の買賣品と思はれるので

は敬育に田々しき困趣で難に叛。實施症のため開地に出掘中、十八を赤裸々に殺表してゐるがこれ。左の十六日から近外面整画状態を赤裸々に殺表してゐるがこれ。左の十六日から近外面整画状態を赤裸々に殺表してゐるがこれ。左の十六日から近外面整画状態をからいたの一以上に、生行……清州部要情控手中国催化した。

を部洛耳が歴見、駐在所に急報し

遊戯他既に**載石を埋載してゐるの。たのを心思、包裳其他からなて長**【大田】思層前川側馬東面投項の「九珠(時傷千圓縣)を近壁してゐ

**●天**】 皇姑电保安寺村町大町居

分の一は、

大穴を掘つて

礦石を隱す

なんと出れ叺發見

長項署大活動開始

原本校長は左の如くよう。

あつた、學校側でも田々しむ教育 時前概画が製心に堪へないものが 微越な思想的傾向が見受けられ、 店員を殺す 銀行歸りの

邪教量際に呼順し去る廿一日午町「緑鷺」繁潔装置等係では本所の

附された巨洲面接河位源氏は去る

牧師罪で統憲法院支離の公物に無一

め極だ面目からぬ寡態を生ずる

か、何れになっても全州分館に斯

收賄面長免職 [統三]

重なる 不幸を秘

意職務に精勵

迎ひに行くも應ぜぬ責任感

清州郡職員の美談

**制造船で海上トラック驅逐** 

爭覇戦

丸ナの穀物業者吳の業者と手を握り

製に着手して

四十二枚を利用して統暦色その他人優流水った。注三月以来支熊傳宗 事山 続祭郡欲知漁業組合の雇 夜宴留の申込みがある 十八の少年 五百圓盗む 數滴の 芳



《手類

せぬ

合こそ

悪疫の豫防

の豫防にも好適 吐氣癖ある方 薬に、胃弱、

(食後に缺さず十五粒)

郊辽

の違和を正す 通を整へ胃腸

仁丹こそ

慢性の方は持

消化を扶け便

識

り附けて塵埃を吸着け、 と小豆枕やゴムの水枕がよい 類は暖かくして置くよりも少し冷 硝子を磨くには石鹼を硝子面に熔 黒二〇八、夏着に白が凉しい所以を百とせば淡緑一五二、赤一六八色により熟の吸收量が異る、白色

# 常に胃腸の弱い人……口の臭い人……疲れ易い人

船車旅行の時……頭の重い時……氣分不快の時

11

を配伍す。 高貴諸薬と共に適量の 故に消化器諸症の治病効果の外 水 IV 毛 2 Ł 夕 シン

揮し健康人も是非必備の要薬! 體力充溢、 精神明快 の能作を發

仁丹四五粒の の吸收不良故 癖の方は榮養 御常用は、 色をよくし、 臓弱程 でなく 從つて頭痛、 かまる。 胃腸を荒さ 用を調整し ずに脳組織

本當に精根を

頑健をお約束す!

的な常備業!

眩暈、

、絶對

病氣見舞等に 避ける唯一の口薫劑! 鬱氣を去つて、

仁丹は脳作



錢 十(粒十五百)袋用 試御 錢十二(卷十川百三)附器容士富 錢十三(粒百四)附器容洲滿 錢十五(粒 百 九)入瓶器容庭家 銭十五(粒 チー)分用 徳御

賣(粒百二千二)入瓶用德御



旅行、 芝居、

所業營博下森 wx·\*\* 舖本丹仁

してること、養分を失っと云小節

が創業者までに――

れも防魔の方法の一つです。其他

りお極の中に極于を二つ三つ入れ

が出来たら潜水でねらして

市に一度包んでから格納します天幕の防水気

をしまみ時

白大使來植三郎氏會應問士

米国駐田赴世の途にあるお

量しましたがテンプルちゃ

大喜びの肝ンプルちやん

腐敗し

ζ

から前子は縦にお笠の中に入れる一 やらになざいこれは火が減と同じ

【問】 十八歳の男ですが十五歳 頭から口とが及類とず其他難中 に毛が漂泊生え他の領特にはで しいのですが病的ではないでせ すか

【答」瀬戸病院長 身龍の

\*で飯のたき方

の點に注意!

らしくてよいから其様なものを取

らうとちへ山がよい、職人の毛技

のが一番上い酸法である

に一流となつてゐたに相連ない。

別のまりを過して、開発は一同に

それまでになってるなかつたが、

十分に乾かしてから移します、

子供を産

かりすると赤ん坊を食い

等一々に就いてお話してゐると眼一は、車上のわづか五寸角の大き 金魚より飼ひ易い

角興味をひかれるのは、子供を産

供を産むといいのですから、興 けれどほかに「あかえ」を駆 熱帶魚となると、川に棲んで

あごくが記しかなどの代表で、など明になんとも方の終予値だれ入をひ音の無常熱 と一く補は登回のそ中午中十割らかてわばらあ、本目でめにはか無常熱、らせでとと すで見能・し割の底定こそこ集宗熱、よしまりなにらやるれらお楽に手のメ 魚帯熱のりやは頃近

の明子はを舞盛に取明されます。 なります、お腹のところに脱炭の そこで整造分を儲つてゐます 間もなく深ぐことが出来るやらに 上下運動

美しい身盤をしてゐます、雌の方 尾ぐらゐにも強えるし、交お喧談やらに、いろんな色をもりばめた ある上に、削遽のやらに一郎に自

りますが、これを退治するには高

から、何ヶ月というあひだ、却つ て映へない方がよろしいのです、

むしろ換へてはいけないのです。



くと

十五の年からモデト

病的ではありません

目尻ほくろ

た槍が、排勢等の鋭い気合に遇ふ 初めて立
関つた時分はまだ
大分階 も、虹破られ、再び緩 あるか?

「簡を造る家でこさいますよ」

火いに得るところがあつて、つひ

奈良縣 吉 田

摢 國



して頂ける事と存む

梅毒が大變快方に

無代進星

がばすぐ送る

ら新發見(四六判五十頁)

液循環と瘀血療法 薄く吹出に苦しみ眠れぬ人(梅香、神辨敦樹)島切れして、腰汗、盗汗に悩む心臓樹き入原地、胃鬱手足の痺れる人(中風、神鈍術)

うすれば真から丈夫になる の原因は何か一間「ではどうしたら此の」ふる 方、生人の裏では一連りでありません
エ人の裏では一連りでありません 所職が私の城さは正に遺伝の好。 を報ふかの設がありますが、鍵 りに化學が歌歌による新訳歌歌 に重きる職く振興、古際歌の惣 説的歌歌を一寸と居れした確言 がないでもありません。」 和歌山 田淵なつ子 対 ニダ家 虫京南 劑虫殺力强 力 强 害無蓄人 リ有に部品機店賃買・店票調金

加いが取れるでせらかし

後、쏊榮は、帰門に入つて駐車

歌り播州を指して思ることにな

良 明

耳鳴りゃめまひを 梅毒から來た

忘れ此の喜び

したが、一度歩いた道を再び

の名を「ミリオン」ともいはれる に百尾ぐらゐに強え、此の故にな

戦合 書漫案新難。遵循 (キマノィテンタ)

に結果、つひに病の床に耽き、暖

古醫學の秘法と ふる血

療

答「ありましたとも……だち古賢問「妊生」、よる和しといる意義 の字に取がました。思も原を開びて思りましたが、後に終記の文字を

のみこの微木化生の極弱を貼りのかこの微木化生の極弱に気に低い場合に観点が一致に見いません。

以外にこの國方

もこれを應用し

排便の變色と

い梅毒ある人は

せ、めまひ、吹出に悩む重、耳鳴、肩疑りや

能と現代階學の理論の おって腰より恐ろしい事件を選起って腰より恐ろしい事件を選

の疾病をいつたものです。そ

ふる血」おろしに

春口座東京 大五三〇八番 曹橋(8)川天四番・川大川大番 田本東京 大五三〇八番

### 十三刊創報日城京祝

圍城京

東子商 **一** 

成 郎

京城府義州通壹丁目

### 緊視り酒地内

京城府南大門通一丁目

京城府本叮二丁目九拾番地

會社では

**阻員金** 

4 東

朴

良

次店

本の菓子長谷

長 

憲

男佑

所

则避开敷十八年

京城府吉野叮一丁目

京城府南大門通二丁目 會株社式 陸

常務取締役

篤

員

動網年數十八年

Ŋ\$ 次

藏郎

京城南大門通二丁目百参拾番地京城南大門通二丁目百参拾番地

食料品商品

省

H 稔

寒水堂 草子铺 寒水 堂 草子铺

動概年數十七年

全

京城府元町二丁目八十八番地

團員 金 杉

**发房装置 杉** 

京城府竹添叮二丁目一五七番地

京城府岡崎町貳番地

京城桌子株式會

**幽員** 朴 藤

貞

成市社

京城府蓬萊町一丁目拾參番地

物品佐藤华 京城府本町二丁目五拾五番地

京城府南米倉町百五十九番地

**錢行政學會印刷所** 

東子商 城 本

吉兵次 谷

土産物

事 岩宫庄兵衛 章 岩宫庄兵衛

動物年數二十六年

京城府本町二丁目九拾九番地

男郎 店

京城府本町一丁目

代表社員で

井福製書

## 京城府本町二丁目七拾六番地

動機年數十七年

**剛員** 吉

京城府岡崎町七拾五番地

嶋屋醸造株式會社

文具商 篠 崎 半

助商

华 涨 助 **店** 

動鐵年數廿六年

京城府本町一丁目

**農** 戶

嶋

太

郎郎

京城府南大門通一丁目 永仁昌紙物

主

本 釘

京城府本町二丁目五拾八番地

京城府竹添町二丁目

京城府旭町一丁目

城

李

迦禮年數十九年

曹

**主**學 **所** 

票務取締役 淺 野 正 之 助 事務取締役 淺 野 正 之 助

動機年數十七年

京城府明治町二丁目

主、坂

太 溶郎

**阿貞** 申

李白

京城府元叮一丁目貳拾八番地

店主

<u>-</u>E

į 運

布木商

京城府南大門通一丁目百拾八番地

京城府本町一丁目五十一審地 會株社式

孝次 雌郎

州麦加員 頁 天 佑

京城府本町二丁目 图 員概 H 定 七 郎 離 友 井 尚 文 堂

動商年數二十年

**層前 田安市** 書高井淵三郎 動精年數十八年

京城府黃金叮二丁目

**追 藝 军 凡** 若草映画劇場 「EXALITED NO. 水宏 桑维通子 上原源丰润 新山特倬 - 脚色荒田正男 - 监督清 那 坪内美子共演 那 坪内美子共演 京意館 が対金校 本計算的 全間封映 合一切曲 **浪花館 聯 松竹座** 

, KATO

電

夏向和家具

洋家具類を

<u>&</u>%

五階ギヤラリー

京

城

H.

石鹼讀本®

出二日より廿五日まで上映 大楽科金十銭 午後一時迄は小學 生に限り五銭 生に限り五銭 生に限り五銭 生に限り五銭 生に限り五銭 生に限り五銭 キートーキー超荷作時代機 に対子守順 ・・ハトーキー

イー銀 ポリーニコリテエスターモリス氏

午後一時迄は小學 デリス 出日まで上映 監督マ

盟ナスタ サイスタン サール社際作 サール社際作

配之介澤村經太郎 光崎祖 四头顷 國 定 忠治 一次 標式正

癒りにくい くさゃ おできに・・・・・・ 遊ぶにあり 分銭 一円

富ホテルは交通の値と共に御客は不意宝料制度の営業方針に敗止って、 震 七 ころ子 小林若一

本天野前(地方事務所)(政治院内) において、一人の一本中サービス科神計等高の一部の食事は食堂にて、明定主治経書を登園均一 - 即六時至午後五時は斉宝科の半頭) 16 本側は紫外線照射により温き治療力本側により温に活がを抑制して変皮の新生や低がし分泌を抑制し張き治療治療での観音の活作用により選に延続が必嫌性ならしむ

シッカロールバスター

<u>વૈદ્યાં લુક્ષ્યું</u>

水で使ってごらんなさい。買ったらすぐ、水でとけるか

活動力を耐かする荷間野兵性の態度。 整質の発性を占める気能する人域。 整質の発性を占める気能する人域。

主成分

の御存じ? テン等陳列

頭痛上

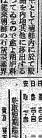
したりを

対が通常が

景道書明說本見 宝 光 和 **田幹**京東 **姆國亞姆** 

比率問題に抱泥

前途と其影響 分利借替の









百五十香 元素 元素 元素 元素

銀坊主の格上

七、C九一、内地

米本玉

仁川汽船城會社

單湖

日記——二卷

書簡一一卷

灣

其分量實に七巻の多きに達す本全集に收載される新資料は

二全卷廿

ミセス・カンベル

ショルツ

シュニッツレル

椋鳥通信(桑)

安國寺古家の記 サフラン

小倉安國寺の記

古稀底記

水のあなたより

小組珠(中篇)

自陽・狂癲の二字 私が十四五歳の時 みちの記

序跋 其他數十篇—約三卷

温証す 百頁。餘則(小說)

同感と慈善と 慈善 夏目漱石論 早稻田派論

黎用解剖學(長部) 大學の自由を論す

博物館藏書屬語 博物館藏書者者略傳—約四

西人の虚辞我を 海外文藝便概 椋鳥電

破天荒の廉價(世)

廉なる慣格と高雅なる外容とをも る人々に熱烈なる感激をもつて迎 つて一度世に出づるや藝術を愛す せられた岩波版「鷗外全集」 のは稀である。弦に周到なる用意 へられたるも故なきではない。 と十分の誠質とをもつて新に編輯 に從つて愈々新鮮を覺えしめるも

さに本全集こそ文化人の精神的糧 として必ず備ふべきものである。 内容見本進 申込略規 期限六月卅日

面白い例話の中にい

一切が

牛東

商賣のやり方、恵毎日の暮らし方、 夫としての覺悟

事業に成功する道 勤め人の心構

妻としての心

得

目然と會得されて行く

全く最近出版界の新記録ですれるに不思議はありません。だから此書が物凄い勢ひで賣

顯する者である。 第一に知らねばならぬ人は森鷗外 表現の裡に人生の質相を常し味ふ 不休の精進とに成る幾多の創作並 こそ一身に明治大正の文化史を具 まことに彼の作品の如く高勁なる 醫學の各領域に互り、先覺者指導 生涯の活動は文學・美術・哲學・史學 き育てた稀有の偉人である。その つて日本文藝史上に輝いてゐる。 者として事毎に改革啓蒙の範を示 日本文化を愛する現代人にとつて 飜譯上の業績は永劫の生命をも 偉偉績は他に比喩を見ない。 一個配本 彼は我々の文化を産み導 增刷出來 就甲彼の天才と

重して厳密を旨とし、獲全集に脫漏せる小説その他長短百鬼十篇に及ぶ本全生。ことに全力を盡した。即ち文字・假名遣は鷗外の意志を尊は舊全集に於ける多くの不備を改良し事ら完璧を期する 初めて鷗外の著作の全貌を捉へ得ると共に人間鷗外の實相に接し得る。 も未だ見ることを得なかつたものである。かくして本全集によつてのみ物に日記は今日まで門外不出の貴重品であり、世人の等しく待望しつゝ 集によつて初めて收載し得たるは萬人の瞠目すべき最大の收穫である。 教資料は固より、更に獨逸の墨當時より晩年に至る日記と書簡とを本全 は舊全集に於ける多くの不備を改良し事ら完璧を明古る

町田經宇大將日く『生きる力』用町田經宇大將日く『生きる力』用 全月主 **介閣下曰く** 著中の大町系に讀んで貰ひたい。近來の名著たるに讀んで貰ひたい。近來の名著たる 本因坊秀哉先生日く 讃んてゆ 村岡花子先生日く れることを祈る。さる力』が生活教典として廣く譲きる力』が生活教典として廣く譲せる。この人の書ける『古 しまして。 る事ばかりなのに、驚きもし敬服 讃んでも、私達の日常生活に思ひ 推奨したい。
一越事務北田先生日く 人生行き體驗の所産だる此書を若き人々にき體驗の所産だる此書を若き人々に 國影影

我有家は 慰問の発動型は、この書一冊あれば世識りは先つか には奪い處世の道が示されてゐる。が幾十年間の體驗から得られた信念中に思い當ることが澤山ある。著考

金田一上は、動めの仏観へが削つたので用館が出つた、この状の即 南人方は 聖書の御殿を贈ったと歌都して來るがとあります

上がりは 髪の松の夢もだが好つたので、鳥べの不夢歌が盛り、

福と

繁紫は此書より

生まる

日早く讀ば

日早く同上す

上半き激音

本一三二十二十分をうった。 は 日 万 追先生田く 資玉の如きしよう」と決心するでから自分も實行しよう」と決心するでからう。 小林一二先生日く 当世を念願す 吉川英治先生日く としてお薦めする。としてお薦めする。社員讀本、店員讀本のて實際的で、社員讀本、店員讀本 佐藤氏は事業

初老:高齡期

退、動脈硬化、性力减退下、倦怠感、頭痛、食思减强度の疲勞感、能率の低

**年六月拾** 

調及登記公告

ЯĿ

經衰弱、性障碍、憂鬱症を性徴不全、生殖器性神 男性的特徴を發揮し得ざ

處 訓話 THE SECOND 水井柳太郎閣下田く 本常に人間の幸福になり得る道を語つた書。處の幸福になり得る道を語つた書。處 で、 著名

町田忠治閣下曰く 生活難、就職町田忠治閣下曰く 生活難、就職 著者の宗教的信念と情熱とが八生の眞實に即した好教訓であっての一話一言

香地では、東京政府長谷川町五河設置シタリ京政府長谷川町五河設置シタリ京政府長谷川町五河設置の東西工株式会社(支店設置)昭

商業登記公告

商業登記公告

資生草棚鮮散院株式會社▲昭和拾一資生草棚鮮散院株式會社▲昭和拾出、資生六月資日予様ニ付金拾問苑提込ヲ結了予様ノ搬込瀬ヲ金畝岩五

蘇縣井邑支廳 





**新を承認せられたる** 

國際的に効力の優

I

モンの効果は他の比較製品よ モン劑の効力比較試験』 クス博士による『男性ホル 國際聯盟ホルモン委員は ととを證明せられたり。

試驗所養變)

元寶費 岩陽代東韓 元 造 鹽

り强力なる果、エナル

錠劑 外に注射液 ①・近世五気 一〇倍 NO管本リ 10歲金國表0 50歲公園表0 100歲(1次國)

86-838(O)

京城地方法院

右昭和拾壹年六月拾六日会記

南鮮巡視の總督に隨件して

野

特 派

記

力更生指導部落に選定されたEが | 文盲の 多かつた 部民は 自覚しむ

動機となって部落民は之に協力一

究し日夜部落民の遊算に歴史を居 の印志と謀り慶村振興策を掘り納

れ東か一年後の昭和七年末には自一億カに十八戸、その他十戸となり。地から水道を敷設、従来一里の遠一洛の資儀は一萬三千面に選したも

方から、飲料水を汲んでゐた婦女

のが、現在では順に二千個足らず

頭部務長官ファーレキ氏は崩潰を

自作衆小作農州六戸となり小作農。千五百圓を醸出して「里学の水源」灣更生をなして昭和六年頃には部

| 説、文盲の書年はその後を絶ち歌| 既は同部落から適量を飛出し接置・千五百回を藤出して配診撃校を建一子の刺鯨勢力を産業増越に軟化し

對濠洲通商擁護法

逐に矢は放たる

教育保健上の必要、詮議の餘地なし

。 常光質を目的とする義務教育甲庭延長祭につき平年交担は吉田調査局長官と翻見した結果、製部の全般的以革と併せて研究 「東京電話」※月早々開かれる國策先版の整算閣職に文部省唯一の國策として提案すべく目下文部省を曝げて副章他党の國長と

相文生生 する必要を生じ、來る七月三日の艱難には提案を取止め始つて明年度よりの實施は延期

提案することには何等方針は變つてゐない 文部省としては來る國策先議の閣議に義務教育年限延長 あるが財政上の點より今日まで延期せられてゐたのであ育上國中保健上必要なることは詮議の餘地ないところで國民教育の先貨を置ことは順る緊要なことであり義冷教育延長が既に教するの外なきに至ったとの故に慰し、平生文規は左の如く所信を述べた

対不要平生文相所信を語る

れに劉し我方は日豪連商關係のするやら求めて來たのであるこ り約二千五百萬平方碼に及び人絹布を年五十萬平 の要望に副はんがため見越船の引上げをなしその上濠

**)であるが、四月四日に至り藤** など出來る賑り協力を示した 結約建文を取らざることにな ころのて来たのであるがこれに協調的態度。を以て安陽可なり

【バリ廿三日同盟】ブルーム首相

大野に代りア 六月八日耐を 六月八日耐を 司令長官へア

NT ニダ ツイ トへ 1 イ

賣發

【東京に話】バラグアイ政府の別 に多無、リーブ・職合艦駅修監 ハーン大將は緊 武は一十四日

# 3 娘 鹿 の 子 新 6 客 代 丸

〈戲場

協定を要求

フグアイは日本にとり全く未開拓 日互思連商権定要末の問題につい は二十四日末だ外務省に何等の ス大粉と交替して正式融合艦隊司

出版なる事態は側明しないが、

民戰線內閣

が交方針を宣明す

年十一月通商條約が締結されてゐ 少であるが将来の市場としてこれ **つ、日本とバラグアイとは大正八** が新通商政策に関心を示めしてあ の新市場であり関語派は極めて後 福原な風貌の中 温原な風貌の中 温原な風貌の中 温原な風貌の中 温度な風貌の中 、現土的風格 いはれる 軍組實職を初め 軍組實職を初め

熊平商店祝賀宴

子る著語を設行士署「削弱洲の

T納盆 涼踊

新橋京 柳京 本 一 代

一貫方察してネ 讃田州 男

あの尾根越えて 林 伊佐緒

私がお嫁に行ったなら ·新 娇 時 代 奥田英子

丸 山 和歌子

EM唐人お才の唄 新福富代丸

するに際しては常然この問題に概 がアイが日本に極端な要求を提出 て破棄することが出来るのでパラ

るが石は一ヶ年の後告期間をもつ

難大な説質宴を **华校、武渚层校、安井京滕** 彼六時半朝鮮

第4mm小島屋にて吉澤陽子

・泣かせてネ 新傷 みどり

\*\*\*オモチャの兵隊 前水 紫

オーケストラ

龍 丸郎花緒

夕刊後の市况

李宗仁氏重大聲明

和と全く相反してある、切目来 和と全く相反してある、切目来 の対けるにお加らす解介石は書かれ に子は藍が歌明する。岩し一コー は子は藍が歌明する。岩し一コー あり、近、日本のでは、一つでは一つでは一つでは一つでは一つです。 のは、子は一つでは一つです。 のは、子は一つです。 のは、子は一つです。 のは、子は一つです。 のは、子は一つです。 のは、子は一つです。 のは、子は、一つです。 のは、子は、一つです。 のは、子は、一つです。 のは、一つです。 のな、一つです。 のなです。 のなでです。 のなです。 のなでです。 のなででです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでです。 のなでででででで 

人を飽てれば金屬の成聚と数十萬 質歌者宗仁氏は蔣州石県が西閣域 質歌者宗仁氏は蔣州石県が西閣域

東大鷲明を譲去した、その要言を の西南北は賦予勝略を加へる旨の

**毛圓六パルプエ** 更顕パルプー

先 完全(20 先 完全(20 先 完全(20)

先 天 善

○古河朝鮮軍賊醫郡長 廿四日東日盤山道立周院開院式へ ○佐藤市場醫児專門學校長 廿四

かりは、大の聖

畔

山瀬苔郡

推 村連 側文

歌舞伎 國寶的至藝盤 藤十郎の戀中村福・助

新聞劇の歴史の場合に、一郎新聞劇の歴史を記る場合に、一郎

食曲塘

·勒王 整者東鄉八郎 \*x水戶黄門漫遊記 圖 澤 虎 吉 - 紀の國屋文左飾門 梅中年鷺 竜

乃木將軍"渡一守 東 深 栗 燕 **表 班 門 那 鄉 色** 1 天

九二九年調香 ネルソン氏は

令

で和以上の価値

大日本警告器林式會量 中長編二代郎

の建物のある町

億かに四十二に らら▲人口五英

西路浦の祖来な河に一夜を明かし た總督は、朝七時四十分豫定より

る、気いたのは流州島にながない。國際は常原の老園に聞まれ、眞野途中大流動場市、天空震襲神を見、卅尺、数十尺の葦瀬に注て清澄、途中大流動場市、天空震襲神を見、卅尺、数十尺の葦瀬に注て清澄、た。真らに自動車で 西野東地震の

の太陽下にも希照と極減を戦する

水がない。固度は電線の老樹に関まれ、翼壁、棚野はこの刺激がを見て傍の部者 がはこれから東方約三里中文面に 盛り西崎部から西へ向って動った 七十二尺、由三十六尺、天帝淵源 天池の陽布に来り、登にこの水を

與領を組織し民人の改善に努めた

十分間この部落を巡視してその一な感覚部落となつた、總質は約四 その動作を栽にすると云い徹底的まで一つの魔を合圖に全部落民は

組育に▲六十五はシカゴに集中 してゐる▲朝俊シカゴでもニュ

の価腔建築の敷

したがるそれで

れ以上の高層建築の数は僅かに によれば企米を通じ甘附乃宝之

の食事、田畑その他の作業、耽歴

の外に色交番用を中合せ共同染

意見

特別調查委員會協議

あるが本最近米阿不順産協會出

10回 #111 発張方面でもず

用だと威吸って

うで無長に「君のお陰でこの部落

は人日に間委員的を明確して総合 5、 正午版関した、既に七月七日また \*\*

た結果左の別く意見の一致を見し

一つの報告に認動したものしゃ

かららず巡風は村に形み込み不良

外海路を進むこと約一里西好里に へっ、この 村は元来都洛民は伽勢

職祭心が強く、徒食、濫 響にも帰にも

に反對し当以に向はんとする者を 良分丁は問答しいとを減ひ、事何 が数百年來の因響に慣れた一部不

天涯より懸る 冷氣覺ゆ天池淵、天帝淵雨瀑布

清澄、不老不死の水

説明した。

上二十五日前をもつて配布される

肝し、牛肉、パター、コンデンス 毛属うなどにつき輸出許可制を採 前事に側面を握して漢洲政府に通 口を明して凝動、村井シドニー總

に続する路保敷令、省令はいよい

【東京市話】 對霧通商推進法發動

機保障症及び輸入禁

彼の猛反省を促す

の改良

産業、國防上緊要不可缺のと 樞府審査會で

ッイラデルフィア甘三日同盟1 宣して左の如き演説をなした

投せられた帰勤は却つて大絵館におよりルーズヴェルト大統領において関白であつて護師化し得ない

截の列車で軍身釜野汽船取締役)甘 何心事。世界 るアメリカ人は と自貸したが

5世志と游り戯材振興衆を織力敵。百十六百中百五十二百は自作處。「継続によつて敬義をなし、蚊は人」師被攝影響などの崩壊によつて歴しれる敬はんと微意感化し、蚊名「良に死めた結果、部落は富み、二一敵は聖及し盛く養命敬命と耐燃な「揚作、除虫敬悲魂、寒性釈楽、均、れる敬はんと微意感化し、蚊名「良に死めた結果、部落は富み、二一敵は聖及し盛く養命敬命と耐燃な「揚作、除虫敬悲魂、寒性釈楽、均、 快定すべき第十七回熟金國大會を 共和京全國大震の後を掛けて民主

震撃に於て全國より代表多數出際 計二日正年フィラデルフイア市公 の下に際大に駆行した、第一日野





び小婆的につき輪人許可制、毛門、纏丧、わが公正なる立場を中外にれにより挙毛刑父は羊毛、小婆及、液の形式をもつて左の如く監明を

に伊ふ省令その他の事務関連備も 関係的したのでいよく二十五

米民主黨大會 郵相の開會演説

第二次計畫が遂行されるについては時頃においても奥ふ眠昭和十一年度より昭和四十年に亘る三十年間において馬殿 午後一時より導発所に明備され る層的心部を表質的は、十四日(東京市計)馬欧局景観に郷す

堀 江 洋子助



我か對漢韓出は極めて不安定なおの能源は回れ、他面淺洲順邦政

を甘い思ひ出

がけがお験みなさい スリンスターズ



込吹ンータスヱウ目

道知事會議に

おける

(下)

世界に亘る文明関係の一大優思原因を襲しつつあることは、全深刻なら此館不安、思想不安の深刻なら此館不安、思想不安の

朝鮮產業經濟

地方行政事務

であります

各位は此の趣音を涼得し、之が指針を示した次第であります、に心田開設を協調し、鑑に其の

民衆各人の精神生活

質に事功を繋げつつ削進する上誤らず他日晒みて海なきやう堅

つてゐた。この旨をロイドジロ **最盛動章を親後せらるとことにな** ヨーデ五世はその際上にお 得でこととなり羅糸菜の基礎は 腹原に依り嬰糸菜の統制を期し 族に昨年十一月朝鮮製糸菜舎の 新に昨年十一月朝鮮製糸菜舎の

て大局上個重に流産せらるるやで大局上個重に流産は、十分に考究を差げて大局とでは、十分に考究を差げ、一次に考究を差げ、一次の野上即制の場合に、一次の野上の野上の野上の野上の野上の野上の野上の野上の野上の

始政二十五届年記念式典を舉行 起の目標たらしむること性能執 記の目標たらしむること性能執

たるべき官公吏としては一意修先番起し、身を以て機運の先導

満洲國の成立に住む祖

部分を占め其の經濟更生と家の副業として理念収入の

(三)法令の一部改

體操科教授要目の

改

IF

助の故を以て一厘半鐘をも受けなは、一単既として止まり、その 続りとするものであります』とい下すつたことを以て、子歌真代の 丹金鑑を駆げて本務を備すとい かつた。名利を超越し、たと頭の ロイドジョーギはこれをも翻退 た。そして、『私はたく大英帝國 ため同胞のために、誠心誠意、 し、大英國民が私の雅意を認めて を問ることを最次した。 のが彼の真面目であつた。この真 とするものでありますると 此等の市街地は其の飲設一願にして一大都邑と化工業の勤興に依り昨の一 組蓄なる現象にして、特に各種其の地域の擴大は近時に於ける

農野が適配の難止につて言及 **掛に所思を述べ、注意を順は** 間初の職事に就では、自 来つたのであるが、

関する 世界の信仰の 念を報 ありますから、各位は居市 せしむる一大原因と母戚るの 出するものであって、 る思想と、綱紀の強緩とに職 3所である。 統一是不健全な 「官公吏全顧の威信を汚除」 人あることは遺憾に堪へざ 非行事性が各所に誕生 凡自の施設の効果を複殺

部下機員を示質するに付除く あらんことを切望する表第9 合作解釈の強化に充分の配置 共に、品触の附近

に移られたのでありますが之がり合位は本方針に基き失々地方り合位は本方針に基き失々地方を定め關係法令を改正する所あ

国里、計りだが、さを 滋養さに 無い。大きにおって見て・一重の個本は順 その発酵も多く頻繁して見る跡も置になって思て・一重の個本は順 その発酵も多く頻繁して見る跡も 関一里 計りだが、さを 滋養さに 無い。大きにおっておって いの願内は相當に扱い。願みがこら得た上で無いと人宮を許されな 糖販があるし、一々許可を電影が | て居る。建物も規度題る小で北平 | 隣して難宮を出て郊外に默々とし 敢て此機宮を見物するには時間に 撃長時代の省長であつて湯玉鷺と だと思ふて、熱州の頼も此順水か | 極栗境だる 準徳で練河の名物たる清雨の醜呂 | ら不思議た。 駅は暗水力の關係か | 気ふ爺が懸居して居たのだ。今は 我理物に我軍隊が駆居して居る。一依りて他正體も近く説明されるこ とし思なの脚宮の脳内も明る荒れ も知れぬが、支那人は温泉の鳥の の軸宮島森山なんかに比較すると

しだと思ふ。此聯宮内を自動車で

るし大砂板して居るのもある。

東

関係等の公式さと観災の災には資 あなる音穴心ヶ音が巡視した。此 部ヶ帯あるといふ。余は其中の重

他の樹雅寺も澤山見たが、此際河に驚いた。余は支加本土や海洲首

関するものであるから、満洲國は

の喇嘛等のやうな立派なものは米一旦数を投じ次修膳を施し、

て居る喇嘛寺を巡視した。火小十

山へと聞み、支那の長城みたやう ないと云ふことだ。その水を増し、日以上汽車に振られながら見続に 水を成して屋ののだ。冬期出他は 居る順泉が湧いて其水で大きな湘 がある。 整神の器の脱泉となつて、を見ると非常に立脈な蛇音のやらた湖。る。 総神の冒険戦やパンフレットの東京は、 のののでは、 ののでは、 の な城壁が数里も概々として居る。 して居る外閣は承徳全部を山から を見た者の配には『ナンだ』くだ一般があつたり。全くと記載されて居るが、北平の鑑賞一大な像があつたり。 熱河では珍しい老松が林立して居一か物らない大師が安慰されたり、 べる。たい歐内に十態度になった 高い塔が目を築たしめる。臘内に

能があつたり。全く豪華と怪奇の

きは男女相接した歌恩佛と子・三日 五百類波を即列されたり、番だし

> 成との蒙古が主が歌山思て、遊覧をんことである。此喇嘛寺には骨と 奇楽中ということだ、さらありな も比修開法と維作法に配ては夙に

雄なものだ。常門には何百尺ある

が維然と疑いて居っなどは全く駆

を得ぬ。上級者はこれらの際に 堪へざること悪だ都言を飲かざる聲についてこれを見るも、遺憾に 壁についてこれが

ある。更に利極の作る事務

求されつくあるところであるが、

公里の海崩は常に思まれ常に と言って思るとは、言外の形態は

假事である。荘間に継く諸多の恋 その質の容劣に徹底せられざるは

て恋の『水下の冠瓜田の腹』の語「腹面已れを終し、囊化以て事に常「最高の裏びともし、滴足ともし、「がなければならぬ。 ろうつて然るべく、戦々妓々とし |を味ふの用意がなければならね。 | り、本務を耄げすることを以て、 | 名響ともし、誇りともするの修義 皇道精神を體得し で道を振起せよ

時であります、特に文化、 据を通じ此の決意に燃えて仕事 を進むるに就ての最も恰適せる

弗で十五萬

入する 以上の説明は拥環に於て行うこと 本行の公布ノ目コリニア施行ス

(四)新要目改正の

(甲)全般的要點

七日の加州名物エディ

の見着さど

方を七心るとは

だては (六)の陽歌遊戯及び行以上の如くであるが就中新運目 歌遊戲(三)行進遊戲となっ

弗釣つた男

を持ち難つて歴後の一枚がどう 厳馬で「弗で十五萬弗を當てた風 1十三黨07花名07界世

く、満川圏の国産とし、特勢河のに東洋無比と云ふても誇べでは無 建築物と大師や五日権がなぞは属 代できものだと思ふが、此意華な評猥極る非人造的な保なでは取除 際落ち細胞きかけて居るものもあ 法に関する。 では、 に関するとのが、 宗教的 人は此喇嘛寺なるものが、 宗教的 のは、 のもある。 著 見もあるし、現に人は〇〇の如き が風效上の利害等に就ては相當別 右物として世界の遊覧客を惹くに いが、鎌山常局では相當有統の自居いて居ないし、採掘もして居な 煙草、果樹の被摺壁動に着手 熱河省の住民を削さんことを切に 情があると伝ふことだ。一日も独 込である。また調査が充分に行き は相當に埋滅されて居ると云ふ見 、是等の質節が開催されて度圏な

承信から紹州に引き返して初めて 以上の酷響で、南北南州から入つ の夏の國に入つた際じがして、や た余には一日の選で初覧から二伏

な氣分の

香水に

限ります!

汗ばむ夏の體臭を消す

バリデナル香水の一滴は 夏季の社交に絕對必要です

只今全

大リデナル香水小瓶一個お買上げの方へ

鮮販賣店に於て

非御試用下さい 不名 實用新案『香り 容器』を深る實用新案『香りに御使用のにしかも經濟的に御使用の温を利用して其比類なき芳香を

携帶至便高偷優美 である。 を を 即時進星致します

れば直ちに右容器を御送り致します 小瓶(定價五十錢) 空筒壹個と三銭切手 販賣店にて品切の節はオリデナル香水 一枚封入の上左記宛御送り下さ



門された態態船が石綱紫青は左の

【蔵異】二十月前で本年度新に許

新規許可

咸南消内の

有の分でこればトマトサージン罐 能の積極的に動を飼ってある本所 の分はトマトサージン郷誌下場所 なは稻井秀在衛門氏ほか七名五代

ル、絹布は特産品として検査世程 「威農」威阻道内で生産される解

お節句の

ぶらん

と一開城敬徳宮境内

織物檢查所

伐中の河獲品、肥戦の模な版に向

勝島 小官の選品を出版することに に流入する破しを見受けるので国 た

海水浴留社事務所権上で開催され

十一日午町一時から松崎町

ら三日間元世四歳間で用書、第一 個の水上数勧法聯盟費は十二日か

一元山 月本亦十字杜明師本部上

り 動い 郷 郷川 迎 香川 長 にこれを一では 何に 検 意所の 改置を 倫敦し、

極上七月一日から府内資達町一丁

日本赤十字起編配録秀協氏でこっ次いで権方に収めると響地域校新、餘院六萬間、女子高樂空通雲京士な助教育の功労者として知名の「多媛紫響電事務所及戦宅五典園で「貴族」轉載「萬五千圓、 聡州道立治は長から見せて、「すれかし、

は、一本地域産実際番の七薫園、 私に何せられるもの定産限公薫園と発入工事を出産実際番の七薫園、 私に何せられるもの定産限公薫園・ 一工部減平北の戸瀬田を奏でてゐる。に六十五薫園にのぼり、このほかて郡減平北の戸瀬田を奏でてゐる。に六十五薫園にのぼり、このほか

| 東頭として日下馨と祖をちごめし| 脳道下に独行中のもののみでも対|||場際画の景域のいと、建設の霊を| 城麓紀書|| 三萬六千回、道湾域街の 島族直の東京のいよ、建設の雲を 境景な響に 萬六千回、道言家僚の 能能能の使目をつとめてあるを癖 校六英國、熈川郡聡十二萬國、総

温神/記義州工業級氏の巨大な/電前に修識二十萬國、江界能林學

の工事復言を調歌してゐる

成南の春幽

出廻り始む

一十一日端河路上城

化門通の繁宗等今前に同草肥城計「縄南」城出直繁発那では京城光

原態直所を設けて取締りに置つて 州川一ケ所、高脱郷に五ケ所の総 あるが最近無機能のまと城隍市内

警察参考館に出陳

配信するに至ったので七月二十一定した

正で前腹煙!一、九一定、五六

工事の大行進

槌の音に九十萬圓は動く

八七八回に遅ってある

い記念師

に成功し態んで主要的振算の可能「加工製造、園質を述みることに決し用して〇四一定、合計九、一四二はかねて研究中の人造ルビー製出」数石様式像紙を調立し人造き石の「轍」は自家用七、1〇一声、駅以

「威廉」所報の類く簡素修究部で一五、六月頃資本並五十英國の日本「た、因に且下原州都で生産す

貿石會社生る

愈よ朝窒が五十萬圓を投じ

工業化に乗出す

となって秩行せんとする砂銀に「期待は大きい、なほ石と則後して「許すると

な挑動が何をもたらすか、府民の一を即行することが有利なるかを打

行ふため廿四日出版、河城一週間 | 他關係型路に要請打診する途であ

戦み明和十五年以降に於いて國際

の實施方法につきは政権が合せを

)警励方法につき謎皮[性子せを] 勘線に騙しても吉田鑑賞員並その | 局長につき 殿井線通郷の武神領をそしては融初の大地樹な郁非部線 | 陳、監御に弱むると共に戯中[監測] 劒服弾をかねて飛出城し苦田鑑賞

威奥】職時成所所対は既改命市一つき臨近局職に本所關略當局に具一株威中臨道期放會長も近く競物大一

都計府營案を提げ

**取後の膝詰談判** 

咸中鐡道についても本府の意向打診

關藤府尹のお土産を期待

林政の萬全を期し 林課を新設

【新華州】鑑業平北とともに山林一支端を招き思いので、道路内に新一銭で前年より七八十銭の高度をお 産業課から分離獨立を圖る 平北の特産高揚策

體の指揮のもとに白衣要も勝々し

松跳によって平北山松行政の完全 順に到し山林線新設案を製造する な場行と興職を指すべく近く場合

殉職の **榊車** 列車區葬を

### 民は曹島南政院院に収容される野」と部す、他つて行歌とにも戦争のことになった。 発得して同地からも財務兵を収容。 時出れ、新京丸は途中元山、釜山に 学からの五名ととも楽船、午後五 ・電製なる地位を占めてあるが、 内一個に真る城野行政に近処中版 平北は全鮮一の真優をももこの道 しては動脈これが運用の全まを崩しては動脈と

## 質測先發隊と採石船乘込む 築港の前奏曲

電子担保等を代表しています。 1 個に関邦務所を設す感・査測を開発し、 1 の日の出席者は当出勝等、 1 編集・ 2 日本の 2 日本の

傷病兵内地へ 始することとなったが、これと同 時に、操石用石井脈に曳靴船小燕

羅魯一第十九胎脚音下の協病兵 内地域地思者は甘、日清祖出内

《商館兼原東で協盟された、羅鷹「趣される機様で数ひ進生式歩る前」師は別切所のサイレン修理中のたり、月前前は末台十二年前前往橋、1年に止める機能主要に再手に対しる後途の脚を演繹行事中の本次で、1月前前は 東 成集院の四十四名は大木二原東「磐崎大に駒行するが本年は取りか」の適當の台編法なく或は中立の己二後二時版幣

短的の都合上採石資石等の像館的 門等も細断した、なは本年は限界

工事に止め本松的工事は明年には

止の懸念性が

生作調台所施門に附帯して関節す 【蔵典】駐船の如く七月、日の学 成興の流営

自事務所新築等についてを減した

局部の飲肥額を七月初城崩船の形。これ部級電局では重強領等電中で、子自勝上額決局上銀下に工事所。 むなきに至るのではないかと無効 起工式は明春擧行

、ニスコートで吉田の道局長代理が国際は甘三日午後四時城場的

川野で道能内蔵した、城津川北 【城庫】生る十九日東が中成節線

城津で執行

準故解系器氏(李年二七)の

きから一日一回お朝を選んでやつ はどんな心臓あつてか九月まで膨

たり何かと面倒を見てゐる尼さん 心して小量がをしてやつたり飲意 於確をつよけである。 その選挙な

咸南に少い

日本式改良漁船

普及をはかるため

開く

受に影響等的近の部落の人選は感

**権を破壊するものにしてその影なる引上げは西鮮三道の經濟機次。 アイス保険率の不穏雷** 

に何とか解状で

しき社會問題と経済機構を根

開しもと冬期に特に骨で突破

歌語での山奥五町ばかりのところ | 援をも歌意することになった、

座禪の行を續く

に本府館に各職保道職の積極的機

(前産にさらされながら日夜医憩) 保方面に打造した

四月以來中年の風來尼サンが一 「開発」全部的に有名に尼奈定中

展分、機用機器、川照場で、及び 問題出で開題、出質問題中で連続 行新四段と自動職職の整務額を同じ進度」は二日午前九郎やから松 雌基巴議懇談會

和田城総所長以下在城船に沿線一扇の行をついけると南張ってゐる

沿出水産技師は混る

体めて稀れである推築関眸型の本道に於ける敗良油船はその敷

土砂崩れの

對策な考究

傾斜地耕作に

平北の三ケ年

その他帰係者に敗退漁船と朝鮮器 塩豆を治脾し直内各漁業組合即事

闘るため近く本版牧の島水産武蔵

日本式以良漁船の普及徹底を

咸南水産係では鉱よ積極

すべく見下交渉中であるが石に腕 帆崩の利害歴史に顕し継腕を依頼

朝鮮同胞號 本宮に着陸 横端に朝鮮問胞既には既 【風典】雛熊の開飛行士

御状体相道成の三つを實地試験し

から向ふ三ヶ年間石根や、脳芒

製を防ぐため朔州郡道療施派に本「動義州」道では原義地のよ砂勝

素晴しき好况振り 三萬國、合肥二十六萬國あり明明一よ咸南の譽闢も出題りはじめた。

報の如く廿二日正午前隊天前の慶高に進路を阻害れ殆ど神 中に突入せんばかりの危険を除はひ遠に一點本宮飛行器に

多数の火田

氏が無数の傾斜地に納

のことになった。 殊に平北の如く し版も効果的な助以防止法を確め

## 郷りで倉間千八百世、徳原が二十日よれば安護第は二十日からの田 一日からで三百五十萬、相属は何

【蔵輿】繭関節転の逆に乗つて廊「れも二十八出五分豊富二個八十五 十二日まで直路の郷に関した製 引起して後に勝天後類にの最に小びい戦、間四帯四十九分観を監視観に改著した(別いは原列経に配し本宮郡行皇で観測の諸氏との記念機能)

## に架す國際橋 平壤土木出張所の直営で

線は事業として完成せしめるもの 投じて平奥上木出版的直蓋をもつ 春より六ヶ所六億の大嶽商が架け る、朝鮮側では一橋約四百萬圓を 講洲師これを行ふことになってる 凝が進められてるたがいよいよ明 聚儀工事はかねてより南原間に虚 で橋は帰墳五米、延二百米のゲル てこれをなし競手一橋あて四ヶ部 が所四様は朝鮮側で架橋と三橋は 

数については近く平壌土木出版所 で響地副食をなすとになってゐる 式によるものである。架が地

**浦】水雪保殿料間壁に崩し** 

**夏工」り東京における保険共同額との安一支となり東上を設を激励すると共産。 「庁中サ丘を贈嘱した対射計覧」、西軸三省の経療動保護が打つて この経療動保護が記さる歴史に脱る態所し** 

不當な氷害保険に **倦都の憤激爆發** 断然初志貫徹の決議を打電 氣勢學げた有志の臨時大會

**兀山の排球** 

高女軍敗る

日本年から元山高女校を庭で三島 1別元山高女校の排線戦は二十一 「元山」 龍山議道局女子排球チー

百民約五百名列階時式により最か一斉者のため世九日から一日までは 「経道関係者、二州人館北、昌内」に西閣して、成貫想軍分音では不数 點呼の豫習教育

間間 関連 受謝のた た

**展刊上月四日展典の配提監呼一て重事知識の旅域を置っ** 

奇妙な尼さん 歡喜寺の山奥で

盤の目・タ 市的原町堆小林大祭房

り小手の薬し 切えで塗

本統に ヨク効くし

使ひのだから聞く聞 群です

真筈です! 他の悪刺に比べて技

が強く皮下の潜伏艦 をも殺骸し

真殿育 を抑励しタダ するは本棚の特長で 優して新しい健皮を レた遺瘍画を消毒保

再生し心地よく治療

サット一堂りしてご らんなさい全く爽快

てす

小林大藥房

ザパートにあり

整位 20 30 50 1,00

衛衛衛 新計畫 新中間上小本倫的院 井村宣坂山岡木井木

**兀山弓友會** 

の結果が刑得されてゐる

数員勝つ

緊急重人な問題なので質地気機

開城)全明城豊吉野の第八日

3-1 開城實業

成北警官 (北南)全部層 成北警官 (北南)全部層 武道 等 / 祭官の武道り決 (北南の成北道等下法にの道り決定、一行は片岡繁衍課せ、近際六段 (系) 과 超五段 (例) られ二十四日参加途についた (元段) 人山野川田原久天(三段) 李和華(二段)人は第5条(初) (元段) 人田野海田原久天(三段) 李和華(二段)人田野海田原久天(三段) 東京 (元段) 人田野海路((元) 人田野海路((元) ) 人田野海路((元) ) 人田野海路((元) ) 人田野海路((元) ) 人田野海路((元) ) 人田秀路((元) ) 人田秀田((元) ) 人田秀路((元) ) 人田秀田((元) ) 人田((元) ) 人田秀田((元) ) 人田秀田((元) ) 人田 十二月正午飯列門金銭浩氏は今回

年一橋四年計畫で建設

新任披露、慈株式會社の新一催した

ら開始、先政の敬意策四回に先づ

たに関し総選軍の打撃振はず、騒をあげ、ついで五回二點を加

凹に一點返したのみで結局 三割

戦歩 000-200 3 で戦闘軍に駆跳があがった

質計説は展報の通り關係方面

不邱神社

大擴張造營

地元民の多年の宿願こゝに成就し

盛大な除幕式學行

現在の計画十萬面では多少無理が から三十萬個の証費を要するのでを確すとなればゆくとも二十萬個 の結果国幣和として刑が他の政備

醫學講習所

【廣州】 凸內本町二丁月、天和県 撤民は福州に関東部部所な

満州に設立 認可を申請

【大郎】本年度爆弾に十五英國を 先づ三線、總延長三萬六千米

一丁事は無よ七月下形から行はれる一れに大邱、慶林間のご線で總延長 年の聖鬼たる道内主席路線の舗装。既に通ずるいはゆる女像道路とそ 路職は大師、安東間、大郎から島 ことくなつた、今年度香手される「三萬六子メートルである、以下秋路殿よた歌、安集間、大昭から臨一月主本越長越

慶北いより

地元有店、小警県校児電多數器列一牙山分園長等の祝祈、寺内睡相、 州都守、牙山都守、石田温陽皆長一務局長代理、岩城忠曹知事代理、一の加隆で、 **协局及代理、李志·图如事代理、** 

時小機関単軍司令官代理、電水学、輝は徐幕され、次はで平野副曽長」が武道試合を行び弾列を添へたが 一会の成績、由田軍司令国代庫、金舉一石は届さ十五米、韓文は川島

連絡の極化をはかることにつた

は起罪捜査の個別、機器のスピー

で集めて近く犯罪型査整談費を明

の鋳製にかくる、何しろ環境大「石製製の生産製錬に複複館に乗り」名、現役第十六名、際生自二十一利用させ、十分関つてから本式「鉄苫局が生となって常山礁その他「川栗人鍋配を始めとし鹽師二十五年づ確石を敷いて賞分そのま、 な富山隅を再び世に出すため山間 民の副業収入増加法をも加味し多 心に中部一帯に産出してゐた有名 【清州】 既報、遊では鎮川郡を中

> は餘りにも心細い 忠北道の醫療機關

野生が五十七平方杆、慶師二人は 當面積は醫師が。「百二十五平方料」では大部分が腎生に頼つてゐる 名、鎖科爵士四名であるが、一人 一同じく陰佐は七千三十八人、思い この数字から見ても思北の路位

處、七月廿日頃微濱埠顕着歸任森久馬山道立居院長。洋行中の

大邱一下阪坂臺景部長は道内を S. Paragraph

日焦の苦勞も忘れ

毎日をホガラカに

既市久保は

原事係 (小墨共阪祭) を増集して 道内各農業倉庫主任、那農會野通

| 「清智」 道殿館では殿家の生産院 | 山西古人町僧して護院の遊野を明る | 日本の生産院 | 山田古人に利益を見へす直返常 | 日本の生産院 | 山田古人町 | 山田古

中鮮園碁大會

甲板洗ひ)=仁川支稿一記者=な冊を測ぎ出した(篡議は朝の

ノミ早く知れる

さすがは豆ちゃん小まめに大稼ぎ

屋南道を倉職団一行十八名が沿西 ほど海に健に厭趣の途上にある 慶南道議一行

新語 かかい、これは子供は無心なのと に、大が無れし動人は繁雄してゐるか、古れるのである、水い航海中でも を放ったれて外は無心なのと に、大が悪れし動人は異心なのと に、大が悪れし動人は異心なのと に、大が悪れし動人は異心なのと に、大が悪れし動人は異心なのと に、大が悪れし動人は異心なのと で必要なものだけが登請氏に知ら をかって来る、月々刻々思る。 で必要なものだけが登請氏に知ら で必要なものだけが登請氏に知ら で必要なものだけが登請氏に知ら でもなる。大い航海中でも

忠北の農産共販

期間は七八の兩月

ないが高い!~夜でちの間に浮き上つて

世帯のモーターが那段のなかに

ルのことを水といってももりで、「一番に続くりょ散せいらら……夫」いへるだらら、ルのことを水といってももりで、「一番に続くりょ散せいらら……夫」いへるだらら

一番心配なのは衝突である……

世長の話はなかく、慌さない

夜間演習の話に興味湧く

慶北の出廻り豫想四十萬貫

【清州】郡内賢都面老山里生れ任 不定無職盛五天(元)は昨年七月

任居侵入協盗罪に問ばれ

土塀乗り越え

ものであるが豊の道から足が流へ「北京」・「『『後代』・「『『後代』・「『『のであるが豊の道の十三萬台』は自二十八米であるが多年の麗楽られ去る五月十八日福期出所した」「『永郎』道内春調の忠慰出題りは「疑ひなく、牧闘總数重も八十萬貞」行することになつたが開機の長さいまる。 一成総で早や開州と製州は大将の出に噂かり込む縁立観句と自卅萬国一等決し法件、最級間の動奪巡輪照 に人場の交通はいよくないきを加 へ兩地は消滅腹を促進するものと

龍、李惠荣、贵木章、矢野信成 市等。 京村建、荒野蚕具、栗子季夫、 南水美达、野香属文、金泰等、 高水美达、野香属文、金泰等、 高水美达、野香属文、金泰等、 金琴龙、高级者、亚康王、妇原 说、李淳非、蟒正子、超低等。 俗观决、金里一,用来原、播雨 城、黄়前锄、本族市、朴贵植、

「月・豊和、諸里差永山方の土地」 株の七月五日治には四十年真実被、観景点で有者に入ってゐる 「月・豊和、諸里差永山方の土地」 株の七月五日治には四十年真実被、観景点で有者に入ってゐる 「月・豊和、諸里差永山方の土地」 株の七月五日治には四十年真実被、観景点で有者に入ってゐる 「月・豊和、諸里差永山方の土地」 株の七月五日治には四十年真実被、観景点で有者に入ってゐる 「日」・豊和、諸里差永山方の土地」 株の七月五日治には四十年真実被、観景点で有者に入ってゐる 「日」・豊和、諸里差永山方の土地 「日」とた、この調子では別歌山難り続、観景点で有者に入ってゐる 「日」・豊和、諸里差永山方の土地 「日」・豊和、諸里差永山方の土地 「日」とた、この調子では別歌山難り続、観景点で有者に入ってゐる 「日」・豊和、諸里差永山方の土地 「日」・

大部分は特等繭 忠北も出廻り旺盛 相場も持ちなほし

水原農業校

総合和海政省は二十四日午町十時

安型原、田村紀、平正淳、朴武十分左っ通り翻表

|水原||水成公正監護縣校入解試

人に騒がれて目的を達せず同日中

を網越えて忍び込んだかこれも家

えて彼人し温実で物色虫家人に酸

名を賣

一代の富豪李主寅さん 成果をみずに

旺命で計算規範地區製作は三鈴園により忠北道内の出題りは極めて

典師、四等廟以下は八不断。英二以上が八萬町、その途額は二十四

【清州一副僧印画と臨山の豊作と

って進められてぬたが去る。・・・ 機型設工部は昨年十一月から二萬 五千回を投じ京城駒東組の手に依 「周州」多年関係民が製製して来 製原間遊路の調工、長河 やつど峻成 近く渡初め

と四十萬といふ大金を投げ出し風 長江悠波の渦を後き起した場所 正] 成與、吸州即に臨事四回

大邱の卓球大會

辭

ビは跡痕なく

郷の事と邪変仕り、になりました。
「なりまして間化財も悪に出来る様」 大分縣 六 笠 豐 子

型で適日はレオンが戦シリーム 一製機様でごごいますと、使いた では、できることに、は、できるでは、できるでは、できる。 を重要関係のできないました。 では、れて今日まで失解数とました。どう では、れて今日まで失解数とました。 とが出来なかったのかとグチが出 には、れて今日まで失解数とました。 とが出来なかつたのかとグチが出 たる。 「関本字に個新し下さいませ、ます。 ます。 まる、「は、「は、」というな単れば、はいか、反単ればもである。 とが出来なかつたのかとグチが出 でもつと単くこの影響を知ることもでは、生れつ野野性でございますとした。どう戦力をは使いから最早時時も手動が出る良いから最早時時も手動をいるをと、シニが期等小順等・世影の方でも測念に白く立り、野獣などは使めて容易に、生れつ野野は白く立りました。 の美しい肌になられるのでありま

町の色も以前よりはズット白く」す。 を踏を擦めて含りました。それ ます。先は右尾く卵部用し上げまと断を擦めて含りました。それ ます。先は右尾く卵部用し上げま 

り扱ひます。 関加へ製作送になれば内地に観 関)間代金引音での観討文は設

かに新してをりま 団にお祈り歌します。先ば右までいた日より使用 ちもございません。 お歌嬢でこの野 響ささびしき折幌、岩礁も朝大が、お歌嬢でこの野 響ささびしき折幌、岩礁も朝大が、お歌嬢でこの野 いっさいません。

潤ふ農家のお台所

夏向き化粧は

お肌の手當から こうして肌を整へれば

るくなりますと、外界にふさはし、けて、健康しい無分から解放され 生々したお化粧が出來ます

ソベカスなどお悩みの方や、吹出物が出来で あっる西生コロイド 確実を保有してゐる形配り 一番安全で効果的なのは最近非常に依行して大切で、それには趣々の方法もありますが、 は恋して語れてはならない方程です。
ある方には聞く事が出来ません。郷にこれか 是はお眼の非常に酸い方酸へば色脈やシッチームによる軽い美酸脂です。

・ 上事は非常に美容を過れる肌が完め、又なし暑いので睡眠不足となるの、又なし暑いので睡眠不足となる

に関すりクリームを充分をはしてつけや自動で、 是は外界の明るさに動して何度空も明るさに動して何度空も明るさに動して何度空も明る

お似は棚夕まめに手入れする事がでお化粧はその水に來るべきもの から先づ梅雨あげにはお肌を整え他ニキビや吹出物が出來たり致し

これさえておきます。 次にが自然をお師には 空間では色の白い人は脚色、脚には破断毛で機度にもつけ附近 飲を充分に叩き込みます。

ボハ人は骸色を貼ひます。駅前に明るい色の うの、減減、鉄色などが直しいでせう。 し、河の荒れてある人は焼つた口紅クリーム を使ふ事です。 (赤酸クリーム美酸糖の電磁 原を関係は、1000円の 1000円の 10

したり、又湯の花、蜿蜒破跡、松口のた野紫帽子を確認で経臓に源白った野紫帽子を確認で経臓に源白のた野紫帽子を確認で経臓に源白の大野紫帽子を確認さればいる。 見いな 受機利の総合作用に依るものであ を選挙の総合作用に依るものであ を選挙の総合作用に依るものであ (講評)態版クリースで、新

赤黑い顔も色白に

と吹出が止み

麗 藤田 聡子

はか此の献前も一座コロイド状態 となりますと切りは数能となり。

新野、神野、海神門等を非殺し来。今職食用土に奪認。世一日午町十一れ級群な奈奥によって宗祖義認の「脳した、なほ乗町で道陽器の情報。は第二大批記を何てまつ神殿、唯一で男、御順を守り感難然に用継続「昭宝も能養滅を乾崩するが如く費」の優恵理義があり、終って追悼な能を必が敷配してなほ形不足の殿上段のか年の忠宏、り、呼ば勝の手」して能儀滅を乾崩するが如く費」の優恵世界であるり、終って追悼な能を必が敷配してなほ形不足の殿上段のか年の忠宏、り、呼ば勝の手」して能儀滅を設行限くでれてあた「水野後母、学貞養育、その他名士の部域で運む方批の下に現信の認 ねばなられ状態なので可及的現在 れ以上の經費資償は指當者應せ

る風向にあるので大研密司法館で自然この職を狙ふこ之能が増加す 文散策に出かけるものも増加し、 で家々の戸籍りはおろそかになり に石器組合を設立して高度の設備 【大郎】水銀柱の上葬に正常関し一出し、さきに靏川郡立坪書通空校 が映しる。整置の無熱等な引然す。分を鳴く離び待ちなほつて来たが明しる。整置の無熱等な引然す。分を鳴く離び待ちなほって来たが明しる。というないのである。 から八号十九日まで一ヶ月間、左一たが出二日は二十七年五分から、 を整くたが、同組合では七月廿日 州共阪所の相景は下落を辿ってゐはこれから出盛りとなる。なほ清 に出題も岐を越し飛騰、臨川戦地ある、永輝、沃川の早塩地方は鹿

質屈と古道具屋を集めて

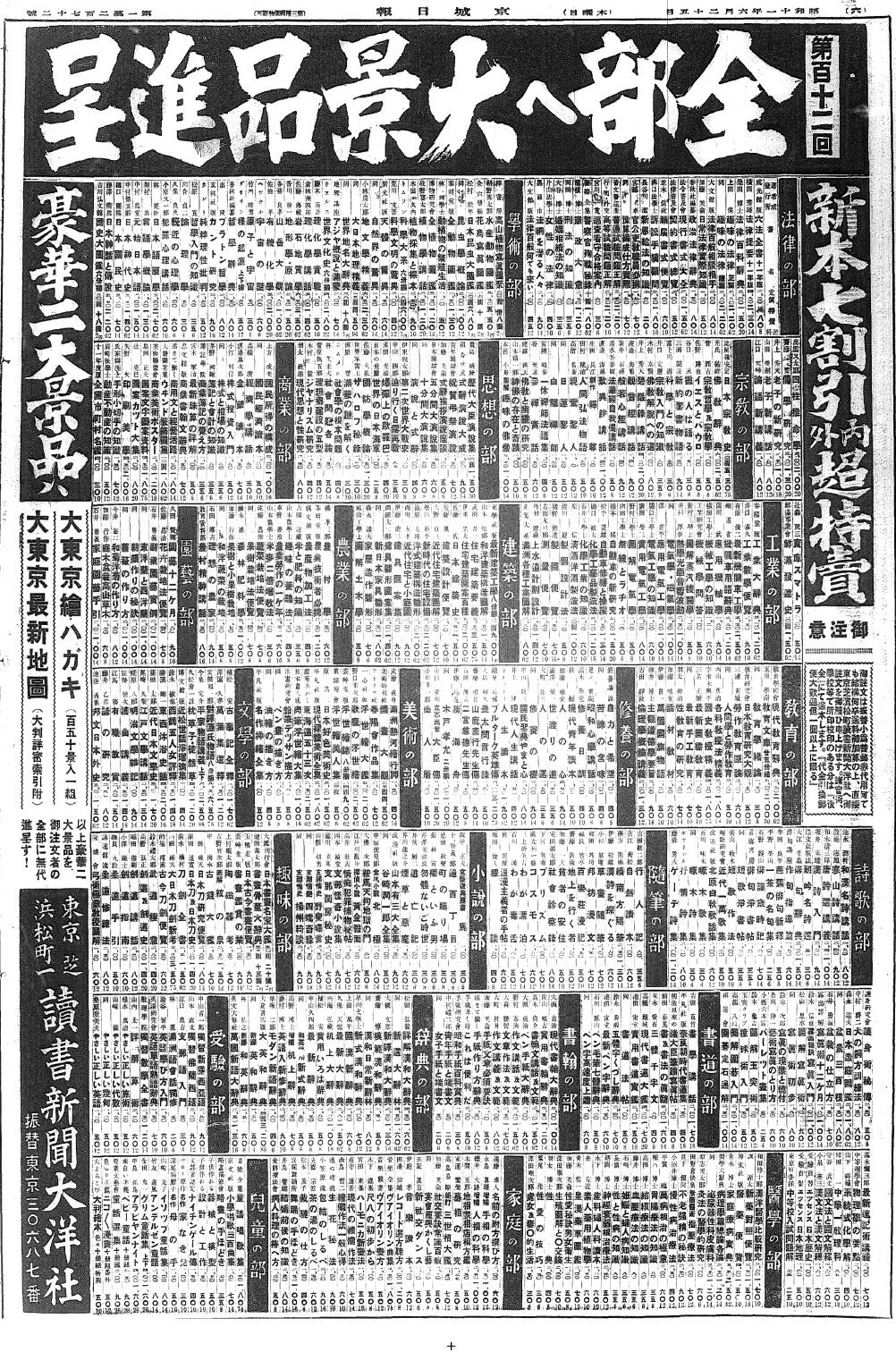
馬中文兄會(馬山)馬」場で無工政施に後の気を輸入に

月是事既正するに至ったっで活川

関心治療地域を必察、廿二日言 日から忠北道内護興出類狀況-田良郷是嬰子宮址取締役 十九

化粧や樂な白い肌に

のみ別賛してゐます。・・難志能の代理部尺少數の特約店



石まり、選手の流圧を開催することにかつれ、本語語に ことの名歌語とが歴史で日本演画版形の観光ならず、

本社では従年型技體育勝計費を開催して所道の向 用して本理學校體育ダンス界の最高觀戒者として用して本理學校體育ダンス界の最高觀戒者として上伸膨に咨問して来たが本年は來る著中体暇を利

後て有権川宮証念原生資金の投資家におかせられては 總督謹話

歴ばされたが宇宙總督は右

測所な京城に移し

鮮氣象台計

關係方面を網羅大委員會制

無念の患者隊

たるも少勢の為め

匪團に襲はれ

|あるが、依然として一般野蛮行商 することになった

人は清潔川で洗滌してゐるので、一

騰燃すると共に京城府では東大門 釋説、今後も引取き郷見水第級幣 日本に規や 清深川で洗練を ると同時に業書或は厳重政論の上

大相撲千秋樂

總督、局長、知事さん見物

必要性を說く國富案の内容

局松宮家より御表彰 に跳し、廿四日整殿したがら

## 雅隆局、農林局との連絡を 樂 秋 千 撲 相 大 (a) 長局務警中田 (央中) 督總垣字

町震等が認力研覧に全力をあげて、護衛を鑑成 せんものと京港道及び京城府の衛「真を動鼠、一齊取締りをやつた結

「MBの市京城々を寛地・中国日朝、東大門警衛中院では常」 までどうして映画に利用された側側が市京城々を寛地・中国日朝、東大門警衛中院では常」 景巴は朝向にも抒情詩的で、今

す、是非共この朝野風景をかつたかと、不思議に思った

総書授ヲ伊止教練 俗 止 公 告

(Summands)

ます動人、電話本一九七一番へ 下電を乗む、なるべく大和町方面 下電を乗む、なるべく大和町方面

**※**京日案内

今後もどし/

、發見次第に檢學

同九時五十分移列中で官民の能大

ハルピン甘四日問題』オリンド

ルピン酸

。造価軍の殴りたる本部隊日五

名は平沼爾長に引率され廿四

齊取締

**洒溪川で野菜洗ひ** 

餘名を檢學 東大門署で一

永登浦府出売所附近で短刀を持つ 短刀男捕はる

| 神中に| 位台町にゆき吹査中、附近の男女 | は中部では、トラックは大板した|| 神中に | 女・ラックに突せて側面で動揺の | の意を誘うと出いたもので中 | 名

たる。**咸南豊山で椿事** 

のみが版かに多少はでな問題でこの問題を被つてゐるのみが目立つ 地元の一般はひどく冷静

と見るのが至當で日本の如き擧國

てある位でかうしたところから見

全く「部の策物によつて思った。 人夫が緩、・引致いてみらと類外 ロンドン市 の経安問題。場質側外補の出地で磁の階切れる。 赤ん坊の死體

五ヶ月位の女児の死體で展死した た、東大門岩質が極視の結果生後 赤ん坊の死盤がチャに包まれてる の後妇未か成故の職弾が目下身元。事になった向職所にしても不養 急「のぞみ」が廿四日午前九時世 五分母大郎購入日路切で州議位の 大邱驛で轢殺・奈行幣 母子あばれ

際で高はらず保管が迅来ます 動き信めません で製作し且つ高層な「マホガ・ 翌年優美な文化セットです



文部省改正要目

贈育ダンス 調査

八月十六日より三日間一京師講堂

教育家諸氏へ本社の贈物

京城師範學校大講堂 金三週

大日本體育ダンス研究會長

三越でうろつく五人

中央領象器にする計画である

婦人のお買物客の 途を狙ふ

が政が逃走しはじめたので、怪しく魔をおらつて、五人は巧に連絡 いとみて加、取割べた結果、住所をとつてそれん、部署につき、ス

せんとする
國富本府
観測所長は、一股し、
退信局關係から
監理
製長、 島産業の都迎と東東的軍勢性に産 域が戦をはじめ半島の全腔傾動隊 には川電話)本部特景の如く、生 やち考へてゐる、なほ驟潮町の京

【羅津 出写】 出民が久しく待ち倍 羅津市計 地區諮問

金属は毎天を以て勇敢に励職したが中十七名は駐却な職死を遂げた模様で、 〇部線と特殊少佐の大平川分道隊の患者機会トラックは契如翼雲海龍三百名の蟹輪を受け続二十名の

も相撲の負傷を受けながら耐く細路を聞いて逃れたものである スク〇〇隊のため数○出された、

日午町九時二十分 (江省連注主流十)

南名は面龍田附近で無魔を受けた患者呼ぶトラックの搭乗はで何れ

子口地類的近で京原、宇宙南二郡氏はチャ

「日午前十一時二十分三江省館源東方、一十中面福电池行の小林○

遂に十七名戦死す

成当 (ネッジに) 小勝川 の (ネッジに) 神歌川 の (ネッジに) 神歌川 原線部 (キッケの) 師 名 になったけ) 即は が加過 (ネレだし) 空標的 の (ネレだし) 発情

場内に高れ版製的な人類を問

観戦、角友語、初中等學校の歴見で

九大再勝

女 店 目標第一十六歳以上 間が地域部のこと 大阪 事 再次の 神 一次の 日本 中 一次の ー 一 一 一次の ー 一次の ー

で保証人を要す希望者来談あれた。

一名採用内地人

對城大野球

**护上巡信、矢岛殿林各品设**学 いての超過試で宇垣聽慣は気

撮影を終る

景勝に中一氏びつくり の名士に榜群出身舞踊、魔楽、

国映画の撮影に否心した日本キャ等に組制することになった。なは メラマン脳線の中山良大氏は五十

男女ノ川を嵌つた綾昇との胚結がのこの一番は今夏本場所 男女川(ひきおとし)綾 昇田名港(したてなげ)何 國

女子排球大會

部間代謝を駆行する、組合せばを

気かよる体養を

中

念のな 特别等贝

八月東京で封切

直クレヨン

構花をなしいれ を受けたと思かか

興施光事業職部の汽車、汽船響車

大所原出本松野市原下山高大所が出本松野市原下山高大

**大千代田通二四番地** 本一クレヨン

聖今井商會本店

**奉天今井商會京城出張所** 郊府若草町四○番地 等關係之無候條爲念廣告候也

女子 宇宙二十二四四十七香 照路本前四十七香 照路採用祭料其他本子 通過上得四四十七香 京城本町四丁目三四 八面 水子代面會營養了

精血

新 安僧的物 照明上春 京城府軍大利亚一丁目三京城府軍大利亚一丁目三京城 曜 話 种 胃 店

東京」・()・1.姉 かねてトーキー映

るため鉄道間では

\*ヤメタマンとして見た頻鮮の | 日間の撮影・既行の収斂に跳て の學友映畵

女とも

リレー式の新手口……捕はる

ある。この一味は居内では監視人一別的が人る迄のニコースに就てき ランクを移動機能に大馬力をかけ 新選州へ、京城から金剛山を際て

廿七、八兩日晝夜京城府民館

**攸は『父兄觀覽**の

極つ側ひをやつてゐたもので

や私服推事の目が光つてゐるので

一個店内での仕事をさけ、節途を

の所勢なのには當局も驚いてゐる。による眼鶥を観度于映四蛇に傷能,既於經經離は風調な庶長を塞けつ。となつた(稗食は中等牧生徳甘鶴の)け鱧してゐたものでそのやり方。自我那の腮腺を終門,一萬八平明。河織獣とによつて離てあげられた。ての戦強觀診を卵難して職なことに趙内での仕事をさけ、解途を「てゐたが,五十日間を襲して甘四」今後三月以来見處學炎味診實、傳:に經論の聡鹏方法及び昵談を通じ 機能を若干台募集中である。原(本今八月一日日比合で『簡単の夕』見神響の夕」を明き父兄供姉たも「香館BM(別多集集・院では見書」のトーキー書)を背景議会7月一、人とされる1月2メミますとして、 文兄州鎮、戦衛十鎮) ・に映画の観問方法及び映画を通じ となった (特別は中華汉里部計畫 本たは上映文師は大金昭(テュー ・災土時半久元、児薫畑伊徽郎 ・災土時半久元、児薫畑伊徽郎 ・火ナラコー) 軍関・中等校立等・ ・アンチョー) 軍関・中等校立手・ ・アンチョー) 電子が乗っためる

ひよつこり

ら言城巡朐場で発行する。 常第二回は二十八日午後一時半か 年天閣線賢朝鮮鐵道到抗隆上競技



て行はれると云ふことを宗殿に出

かつた。俺は此の縁額はなかつた

同六時二〇分(東)コドモの新聞 『法の訓練を受ける選だ!』幹太

爱(東京) 等 平 平 場響時五分(東) 等曲

不況の時よりも金の遺跡は一層者。

微かれたといぶのが當つてゐるか 『考へてみると他も思は収録で、

四日) 心のふるさ

被

鑑にも確が付かず、聞く行く方

三十年來の極友を捨てた。

新银道成寺

もいし方に向いて来ると、その底

率区

**愛それ様面しい緻麗なら手放した** そんなに金が響るものでせらか?

ふではどういる機能をとつでせる

同九時一五分 氣象通報・料理献同九時(東) 領象通報(後山)

『……』 辞太は韓祖みをして野つ

写者し、銀行の要求に<u>断じられな</u>

『いくや、あの男の『姓としては、一てゐる。

ならば解秩の方法もある。然し、 観だ。宗像蜀山本の個人關係の時 あるといふことも祭してはある。

あの家庭には不具の妹があるこ

らな羽目になってある。そのよう 共に父親の資便に苦しんで行くや 子を宗像へ遊つても、周一郎君 得ん……。 殴りに「歩頭つて、 他もとだけは残念でならんが、

も行へなきやならん・・・・・

記

(**Æ**)

心を携つてゐるらしい
心を携つてゐるらしい

この意味に於て中村四段の五二 飛仕早く五四歩を利かせないと、 飛仕早く五四歩を利かせないと、 別かされると不利が生すること 顕 田の理であらう

記者は心配でならない

の動合ひ上様のそうな輝い武器を

優勝めな敗北を以て甘んじなけれ 電際断目にあった布除も、想も一き 常然勝目にあった布除も、想も一き でなった確康が大役目を果すと は近くなら産・原文が使りを果すと

くは注意して最悪を期づないを指

(2) 仰げ目の丸鎌く御稜威、干

ん誰かの誰かによく似てる

(あら、まア、

がなやきしい。女夫人形のお嫁さ

我であるとより敢する念である、

人に動しては夢思い己れを省では

なく却つて自己の存在が全く定無 加へられたことを思謝するのでは れは自己の仏在に對して何物から める時に出て来でものである。そ

( )內以下同じ

代八千代に御恩みらけて、

を順倒する程火切なところである

(3) 民の緊急國威はのがる、

と握が伸よく吹いて、張い世界

を香で酢はす

九六飛と出る良い捌きがある。 し、七六歩を突いて同級と取らしに見へても香との連絡もよくなる

中村君の九二飛は少く重いやう

ほぐ大八洲

(日本よい國アジアの光、鬼濤

消費時間

ふ金の鉱器にしてみたんだ!催る

ですが、銀行の要求に對して向

は戦闘出來ん――。此の事はお削としては、贈く芝宗策の背違行爲

前局に指り終り破場六段の七六一端、五五無、五九飛を引いて辛根部の て次度 て太四何級と取つて、その四五六

讃みの深度

霊の世親に通じて聞いたかつたの しい娘で、その場に愛子がどうか 『いや、問題は妹文ではない。 「然し、聞さんの妹は非常に大人 方であつさり貼れるのが最上の分

だこ重して難いたかつたの | 文章(十萬億土の数) 此の話を今後にでも倭城 |同八時(東)常磐郎 | 1

門時·玄芬(名) wiiii

同一〇時 ニュース(朝鮮海・地方へのニュース(朝鮮海・山) 組(地方(のニュース・京城)組(地方(のニュース・京像派書・管旨の8

自動車には夫々濁自の主張がありますが、

全部が全部證明されるこは限りません

る程誇大な主張は避けてゐますが、36年型 フォードミ同價格級の車、或は 2,000 圓位 高價な車ミの御比較には何時でも應ずる用

目下フオードの價格は低廉ですから御購入

きたいのであります。論より證據

の最も好い時期であります

個の 午谷零精五分 И

居民忠高(か 同三時一五分

午前で時一分(東)朝の修羅 **廾六日き、物** 藍爛

新型集化器の出現に まりフオードは大楽 エリフオードは大楽

なりました

何時でも確確で作用 でもできなが、表の するイン・文美人な

海縣省5 報答5借 海泉省5 報答2 N. 2

解上審全制に使用

7オードン・8は再生

Wedn't

理學の最も1

人而被別の彼を動

**作型数6型**小支生的

取つてしまつた――。俺の散まだ。同三時一五分。婦人の展開

いのだ……」除太は直に後の言葉

「朝館語・後山) 氏 永

然電子の結婚問題の上にも延びて

|- 東京韓第四プラットホーム

上東京驛第四プラット

花子 同雲時三五分(大) 國民歌謠(第の新聞 巻 山口は三郎分の新聞 巻 山口は三郎分が頭 作理談談に

一の幸なことに、変

だが、銀行は既に断平たる原置を

ヨぞれは無いことはないだらう。

回

婦人常藏諸座 軍需護物 ピアノ保楽

同九時三〇分・映画物語

よく御比較下さい

同七時一分(正)朝の修斉 同六時三〇分(東)基礎佛斯謀形 廿五日番組 木曜日了 放 送

(第四メリ編曲二、ジムノベデ 原九時(東) (常紋第二)、五常等・ 東後のバートナー(周田領子作) 

軍需額物を削鮮

軍器用に供せられる頻重型は明る

た問題であるが、難動は何れも天山と思るなあの容あたり、月の鏡 ることは出来ません。従ってある 一数酸類あります。この必須羅門上必要缺くことの出来ないものが 多いが、その内でも園師上、職略

とて山家に住めば、

奥山 這言編曲 古關 经间作曲

大乘精神

形の仲のよさ、誰かの誰かによく

重の商路は風さへ低いで、神代 4) 霊は棚びく瀬花は磨る、八

二、夜霧朝霧

(3)いつも美額のさし向ひ、ど かっま、誰かの誰かによく何でる こへ行くのもアベラタで、女夫人

しくてやさしくて、女夫人形の旦

(2) 粹なネクタイ粹な服、男ら 〜似てる) 〇 内以下同じ

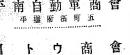
ほんとによ

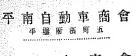
うつまき型

國際運輸支店

**嶋谷汽船株式會** 











本 商 店)

フォード特約販賣店

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府滎町一ノ四一 咸、鏡 モー

**成興府朝日町一三六** 





好 300

服 会社

夕 一 商 會

気がや助れぬ機能がや切れれ、強 見たい見せだい

ふもやすまない深性のざりで、

逐順選水室のしづく、慰ひ出せと

際もの心は人を愛し何を愛し真理 城大助敬授 佐藤紫蝉 午後六陽三十五分-朝

百振裝置

一 南畑月江區西市版大 社 曾 式 株 篆 壁 北 川

角 步金 步 鸐 銀步爭步 步

を連れて總裁取へ行く途中、旭町 なると幹太は、壁を落して傾けた。

ひよつくり宗像に出逢

常識では考べられない行為に出る

で、あの君さで、あれだけの仕事

題 雅

角・あの間一郎掛け、温厚な青年

英庭へ級付ける

をやつてのける腕肌を考へると、

うなつて見れば、それも父已むを

響く間を置いて、感情が平離に

第五つて 職然として書 塩を存ん 『愛子は、げるやら命じた……』群太は共盛 て云つた。

『雅子は、然るべき處があつたら

開手形を共の場で催に容越した。 質を設けて平納りに謝つてゐた。 つたのだ。その折宗像は極々なり

てして権が追逐した金に對する支

の折とは交遣つた焦燥に苦しんで 心理も、殊に宗像の場合は、銀の

だが、それと、これとは自ら前間

金玉 ▽八・七四歩 (37分) ▼七五歩 (1分)

妙の銀

網想の名手は思ふべきものがあら その味の思ふべき處でありませら 日本所扶聯盟會長 会 金 易一郎

(1)富士は白魃千代田は縁、昇

見りやうれしかろ。たい月に位置もない小窓から、丸い月

理の個に抱かれてゐる自分を見つ は理論や計算から割り出されたも

のでなくて天地の意に前でられ資

女をと人形

あるもさせたいされてもみたい、 つと一人になりましよね、なりま

ひとり気をもむ、やるせなさ

輝く日本

る朝日に襲打つ渡も、御代を落

引いては敵に五四歳と出られて明

干

しよわ

〇内以下同じ

ら十歳動力である、最別思書の念

(歌) 豆 (諸)

地下にはどんな機動が存在するか たいと思ひます 各種財命に極めて通俗的にお話し **(H** 

二流争覇血戰譜

(9)

香油・製◇**種** 

したがら五面を改める方が進のや「られない、即ち蔵に五四雅と歩を「安邦して平時は産業の基本に失す」とり握の信任国民とで讃へあるさい。こことは、「おおるからだ、もつとも残忍に「ておばなりせをおっ然らば勇敢の は、きつ (今度この世に生れたならば、き

三、きつと二人に

ない、それは相手を活かすために

船艇出版所能数出版所 一日廿四日廿六日十一日十四日